

科 目 名	総合実習		単 位 数	4 単位		学 科 ・ 学 年	農業総合 科		1 年																																												
使用教科書	なし					副 教 材 等																																															
学 習 目 標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野で活用する基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に着けるようにする。 (2) 農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。																																																				
学 習 評 価	○ 次の3つの観点に基づき、学習内容のまとまり（定期考査までを学習のひとまとまり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。 <table><tr><td>①知識・技術</td><td colspan="5">○農具等について、指示通りに扱えるか。また次第に熟練した技術を持つことができるか。 ○実習ノート記録がきちんとまとめられているか。 ○実習を通じて学習した内容について理解しているか。 ○作物の生理・生態について理解しているか。 ○実習を通して農業の各分野に幅広い見識を身に付けているか</td></tr><tr><td>②思考・判断・表現</td><td colspan="5">○指示された内容について、その内容を把握してきちんと動くことができるか。 ○指示された内容をさらに進化させ、自ら適切な判断をし、実習に展開できるか。 ○作業方法に工夫が見られ、より効果的なやり方で取り組んでいるか。</td></tr><tr><td>③主体的に学習に取り組む</td><td colspan="5">○主体的に参加しようとする態度が伺えるか。 ○農具や道具に興味を示し、積極的に取り組もうとする姿勢があるか。 ○さらに強い興味関心を持ち、今後の作業について自ら考えようとする姿勢がある。</td></tr></table>  <table><tr><td>評価方法\観点</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>学習状況観察</td><td>○</td><td>◎</td><td>◎</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>実習ノート</td><td>◎</td><td>◎</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>鑑定競技</td><td>◎</td><td>-</td><td>-</td><td colspan="2"></td></tr></table> ※表中の◎は観点の中でより重視するところです。											①知識・技術	○農具等について、指示通りに扱えるか。また次第に熟練した技術を持つことができるか。 ○実習ノート記録がきちんとまとめられているか。 ○実習を通じて学習した内容について理解しているか。 ○作物の生理・生態について理解しているか。 ○実習を通して農業の各分野に幅広い見識を身に付けているか					②思考・判断・表現	○指示された内容について、その内容を把握してきちんと動くことができるか。 ○指示された内容をさらに進化させ、自ら適切な判断をし、実習に展開できるか。 ○作業方法に工夫が見られ、より効果的なやり方で取り組んでいるか。					③主体的に学習に取り組む	○主体的に参加しようとする態度が伺えるか。 ○農具や道具に興味を示し、積極的に取り組もうとする姿勢があるか。 ○さらに強い興味関心を持ち、今後の作業について自ら考えようとする姿勢がある。					評価方法\観点	①	②	③			学習状況観察	○	◎	◎			実習ノート	◎	◎	○			鑑定競技	◎	-	-		
①知識・技術	○農具等について、指示通りに扱えるか。また次第に熟練した技術を持つことができるか。 ○実習ノート記録がきちんとまとめられているか。 ○実習を通じて学習した内容について理解しているか。 ○作物の生理・生態について理解しているか。 ○実習を通して農業の各分野に幅広い見識を身に付けているか																																																				
②思考・判断・表現	○指示された内容について、その内容を把握してきちんと動くことができるか。 ○指示された内容をさらに進化させ、自ら適切な判断をし、実習に展開できるか。 ○作業方法に工夫が見られ、より効果的なやり方で取り組んでいるか。																																																				
③主体的に学習に取り組む	○主体的に参加しようとする態度が伺えるか。 ○農具や道具に興味を示し、積極的に取り組もうとする姿勢があるか。 ○さらに強い興味関心を持ち、今後の作業について自ら考えようとする姿勢がある。																																																				
評価方法\観点	①	②	③																																																		
学習状況観察	○	◎	◎																																																		
実習ノート	◎	◎	○																																																		
鑑定競技	◎	-	-																																																		
履 修 上 注 意	○実習は野菜・果樹・草花の各コースに分かれて行います。 ○危険防止のため、実習服・帽子を着用します。 ○正規の時間割に組み込まれた週3時間（3単位）の総合実習(教科内実習)と放課後や長期休業中に行う教科外実習（時間外実習）の1単位、計4単位で構成されています。時間外実習は放課後・夏休み・冬休み・春休み等に行います。無断欠席等には注意してください。																																																				

学期	月	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学 習 活 動（ 評 価 方 法 ）
1	4～7	栽培計画の立案 1 品種の選定 2 栽培期間の設定 3 肥料設計 4 管理作業の計画 春まき草花の栽培管理 1 繁殖 2 鉢上げ 2 仮植 4 収穫・出荷	32	時代に応じた草花の種類、品種選定の必要性和作付けに応じた施肥量、計画的な管理作業等の栽培管理を立案することによって年間を通した草花を理解する。 たねまき後の鉢上げや仮植の意味を理解し、技術を習得する。市場出荷の準備をする中で、市場価格との駆け引きによる出荷調整を理解する。	学習状況観察 （取り組む態度、積極性、技術） 服装 実習ノート提出 （記入内容による理解度、提出状況） 鑑定競技
2	8 9 10 11 12	秋まき草花の栽培管理 1 繁殖 2 鉢上げ 2 仮植 4 収穫・出荷 ユリの栽培管理・収穫・調整 1 定植 2 栽培管理 3 収穫・調整・販売 ストックの栽培管理・収穫・調整 1 繁殖 2 鉢上げ 3 定植 4 収穫・調整・販売	74	たねまき後の鉢上げや仮植の意味を理解し、技術を習得する。市場出荷の準備をする中で、市場価格との駆け引きによる出荷調整を理解する。 球根の大きさの違いが花茎の長さ、品質の差となってあらわれることを学びます。また、収穫の適期、調整の仕方を学習し技術を習得する。その他、販売実習をすることで消費者からじかに消費の動向を感じる。 八重か一重かは、子葉の形状からある程度わかるので八重鑑別の技術を習得する。また、収穫の適期、調整の仕方を学習し技術を習得します。その他、販売実習をすることで消費者からじかに消費の動向を感じる。	学習状況観察 （取り組む態度、積極性、技術） 服装 実習ノート提出 （記入内容による理解度、提出状況）
3	1 2 3	春まき草花の栽培管理 1 繁殖 ストック・ユリの栽培管理・収穫・調整 1 収穫、調整 2 市場出荷準備 栽培計画のまとめ	34	春まき草花のたねまき方法と用土の種類、性質を理解する。 収穫の適期、調整の仕方を学習し技術を習得する。その他、販売実習をすることで消費者からじかに消費の動向を感じる。 年度当初に立てた計画の良い点や悪い点を振り返る。そして、反省点の原因を究明し、将来の農業経営のビジョンに役立たせる。	学習状況観察 （取り組む態度、積極性、技術） 服装 実習ノート提出 （記入内容による理解度、提出状況） 鑑定競技
		合計時間数	140		